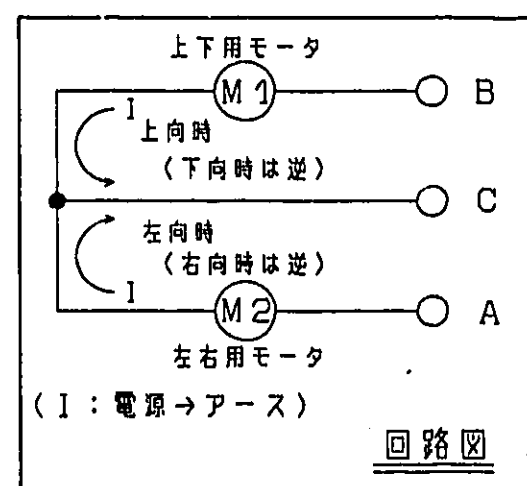
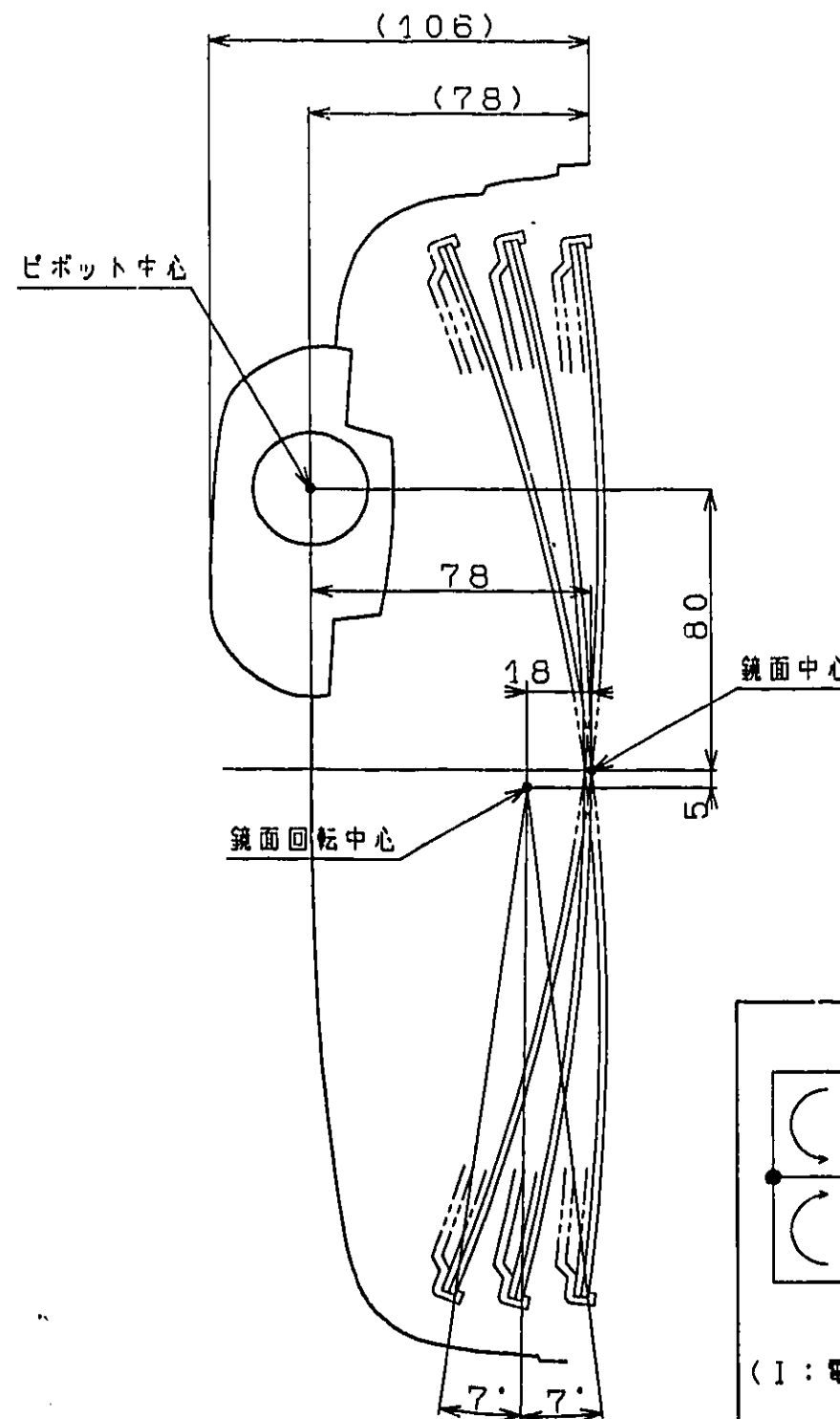
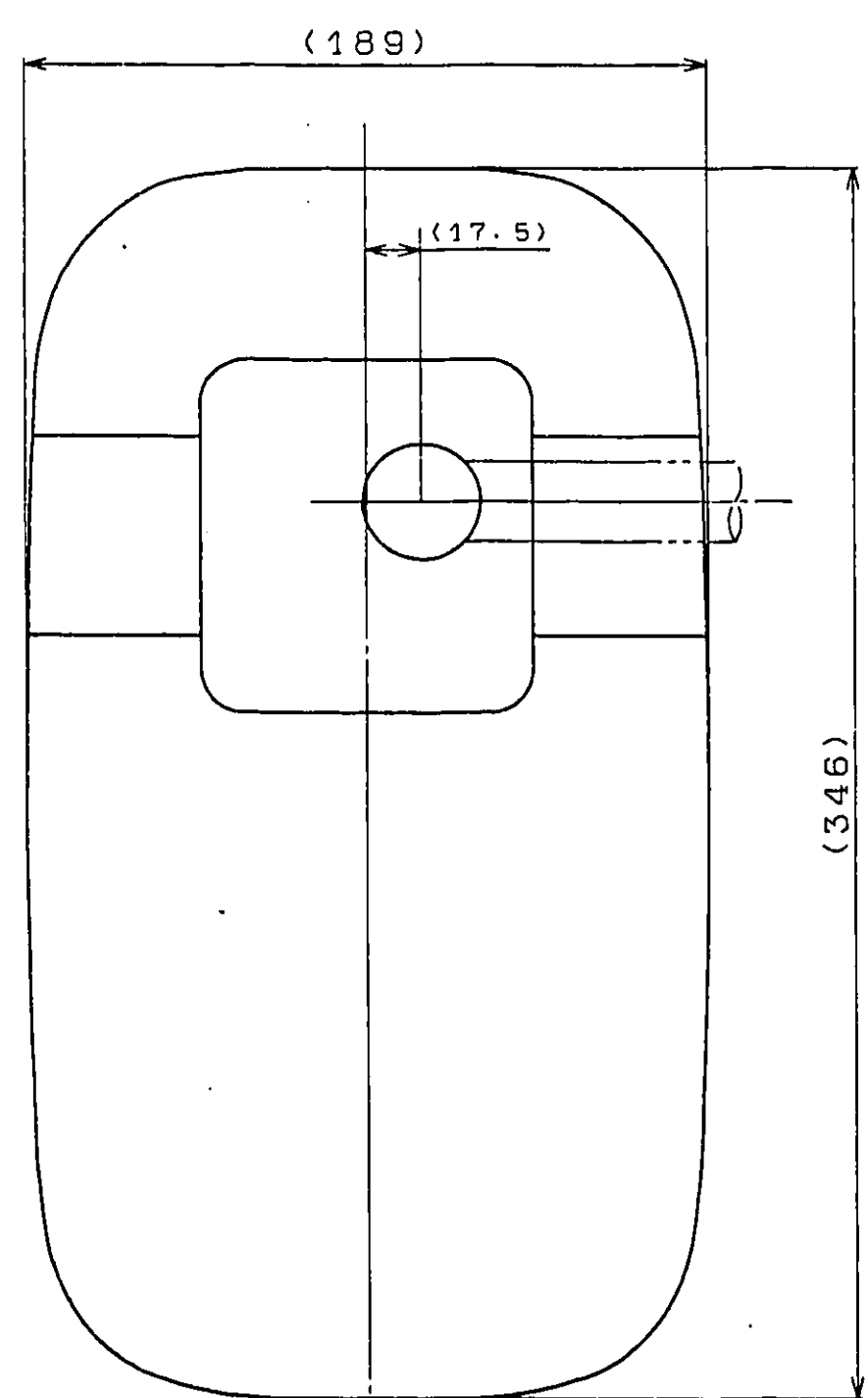


	作動角範囲
ピボット1	29.7°



ハーネス仕様			
	回路番号	線径	線色
A	68-04	AVS0.5	G
B	68-03	AVS0.5	BR
C	68-01	AVS0.5	L
D	69-03	AVS0.5	R
E	69-93	AVS0.5	B

注記

1. 環境試験及び要求仕様は下記の通りとする。

*特記無き場合、P7-ユニット単体とする。

*特記無き場合、日デ実験方法とメーカ実験方法は、共通とする。

NO.	試験項目	試験方法	判定基準
1	耐腐食性試験	下記順序による複合腐食試験(NES M 0007-1990 33.4.3 CCT-1A)を109474行つて判定する。(a+b+cの順) 試験環境条件 a 塩水噴射(濃度5.1%, 温度35℃, 4時間) b 乾燥(温度60℃, 湿度60%以下, 2時間) c 浸漬(温度50℃, 湿度75%以上, 2時間) 注)・各条件設定時間は30分とする。 ・初期及び109474毎に、塩水噴射時に作動耐久方法を59474行つて判定する。 ・上記合計9時間30分を19474とする。	809474終了後、外観腐蝕無きこと。 1109474終了後、1.性能・機能要件を満足すること。
2	高温試験	NES M 0007-1990の試験を行つて判定する。但し、テストでも可とする。	試験後、1.性能・機能要件を満足すること。
3	熱サイクル試験	NES M 0132-1997の第2法195の試験を行つて判定する。	
4	耐腐品性試験	NES M 0133-1998の第3法の試験を行つて判定する。但し、テストでも可とする。	試験中及び試験後異常無きこと。
5	耐振性試験	NES M 0135-1990の第2法194(BP63)の試験を行つて判定する。但し、テストでも可とする。	外観はA級とする。物性については確認後決定する。
6	耐疲労性試験	JIS D 0135-1997 5.6 変速耐疲労性試験を行つて判定する。但し、試験時間は72時間とする。	目視による外観異常無きこと。
7	凍結試験	JIS D 0203-1976 82の試験後5分以内に-30℃雰囲気中にヒートし2時間放置する。これを2度繰り返し、-30℃雰囲気中にて判定する。	通電後1分間は作動しなくともモーターによる火災無きこと。また、氷を取り除いた後、初期値15度/secの速度で作動すること。
8	耐水性試験	(1) 高圧洗車機試験 噴水孔における水圧70kg/cm ² 、吐出量(※)1000l/H、水温25±5℃、P7-ユニットと噴水孔との距離1mの条件下、P7-ユニットの正面、上下、左右の5方向から1方向20秒ずつ噴射し、恒温槽にて80℃で1時間乾燥させた直後に、上記水噴射をもう一度行つて判定する。 ※吐出量1000l/Hの設備の無い場合は、吐出量700l/Hの設備にて1方向につき30秒噴射することと代用は可とする。	機能障害(錆による作動不良等)に至ると予測される水侵入無きこと。

NO.	試験項目	試験方法	判定基準
2	複合耐久試験(19474)	作動耐久方法を自動にて109474行つた後、電動にて109474作動させる。但し、雰囲気温度80℃、常温-30℃の各条件下で行う。	試験後、1.性能・機能要件を満足すること。
3	スワッチ試験	実験電圧24V、常温、常湿にて上下左右の各スワッチ位置で30分間のスワッチ状態を続ける。但し、スワッチが動きモーターが停止しても良い。	回路や機能の異常・火災・発煙の無きこと。
4	振動耐久試験	(1) 共振点調査 下記方法にて共振点調査を行う。 共振点 : 2G 周波数範囲 : 0.3~200Hz 加振方向 : 上下、前後、左右 (2) 振動試験 下記条件にて合計144時間行つて判定する。(試験順序は任意とするが、それを報告のこと。) 加振度 周波数 加振方向(H) 合計 a 2.4G※ 主要共振周波数 12 12 12 36 b 30Hz 36 36 36 108 ※加振度測定位置はユニット上とする。	結果を報告する。 亀裂・磨損・干渉・脱落・摩耗・ガタ等の異常無きこと。試験後、1.性能・機能要件を満足すること。
1	作動音試験	下記測定方法にて、出力軸の正・逆転方向の作動音を測定する。(AST-4)但し、P7-ユニット単体とする。 試験電圧: 24V 温度: 室温	70dB以下のこと。(ND5460dB(A))
2	シフト/リセット試験	シフト・リセットを含む、実車に取り付けて作動させ、シフト/リセットの有無を判定する。(日デにて実施)	シフト/リセットの発生無きこと。

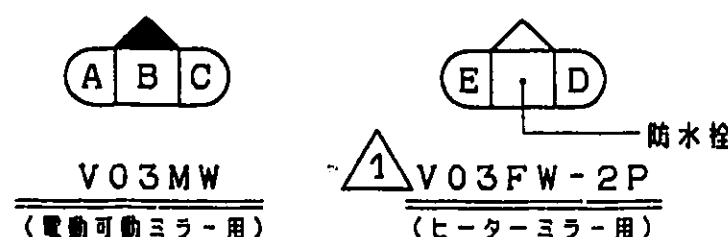
2. ミラーの鏡面サイズは、310x160xR620とする。

3. ピボット保持トルクは、980~1180N・cm(100~120Kg・cm)とする。

4. ヒーター性能については、別途調整により決定する。

5. 本製品のASSY重量は、1295±%g(ヒーターレス)1340±%g(ヒーター仕様)とする。

6. ピボット部カバーの抜去力は 10±2kgfとする。



コネクタ仕様

あり	1350	ASSY	MIRROR ASSY-BACK, RH	96301 10Z05	2
なし	1300	ASSY	MIRROR ASSY-BACK, RH	96301 10Z04	1
ヒーター	質量	材料	部品名称	部品番号	NO.行番
DIFFERENCE	THIRD ANGLE PROJ	FREE	丹内	中沢	駒崎
相違	三角法	SCALE	尺度	DRAWN BY	DESIGNED BY
				調査	承認

940722	CA-7199	N			
BIGN	DATE	CHG. NO. NOTE. NO.	SYM	ALTERATION	BIGN
承認	日付	変更通知番号	記号	図面変更記号	担当
DRAWING NAME					SIZE
図面名称 MIRROR ASSY-BACK, RH					A2
DRAWING NO.					CHG.
図面番号 96301 10Z04					00
NISSAN DIESEL MOTOR CO., LTD.			重保区分	図面識別	
日産ディーゼル工業株式会社				A590仕様図	

(TEC)